

対ペルー無償資金協力「ベネズエラ移民・難民及び受入コミュニティのための人道支援及び
持続的な解決計画」職業訓練校視察

片山大使挨拶【2023年3月22日（水）9:00～】

おはようございます。

本日、IOMと連携して行われてきたベネズエラ避難民支援プロジェクトにより機材の寄贈などを行った職業訓練校「コンデビヤ」を訪問することができ、大変嬉しく思います。日本政府を代表して、IOM及びその他関係機関の皆様の素晴らしい調整と取組に感謝申し上げます。

本年は日ペルー外交関係樹立150周年という記念の年です。長きに亘る友好の絆を有するペルーにおいて、我が国は1958年以来、累計約50億米ドルの経済協力を実施してきました。これは中南米各国の中で最大の援助額です。

我が国は、ベネズエラ情勢が、ベネズエラ国民、更には、周辺国国民に大きな影響を及ぼしていることを憂慮しております。この関連で、我が国はペルーにおいて、国際機関やNGOを介して1,000万米ドル以上のベネズエラ避難民に対する人道支援を実施してきました。また、本職業訓練校はベネズエラ避難民に留まらず、受入れコミュニティにも裨益する重要なプロジェクトであることを強調したいと思います。本施設に供与された機材が避難民とペルー国民の能力強化に貢献し、包摂的な社会の実現に資することを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

有り難うございました。